

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 3 年 2 月 18 日 (2021.2.18)

【公開番号】特開 2019-122438 (P2019-122438A)  
 【公開日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-030  
 【出願番号】特願 2018-3055 (P2018-3055)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 1 月 6 日 (2021.1.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が始動口に入球することに基づいて取得される取得情報を記憶する取得情報記憶手段と、

前記取得情報が当り情報であるか否かの当り判定を行う当り判定手段と、

識別情報を変動表示させ、前記取得情報が前記当り情報であると前記当り判定で判定されることに基づいて、前記識別情報を特定態様で停止表示させる変動表示手段と、

前記識別情報が前記特定態様で停止表示される場合に、可変入球口が入球可能状態となる特定遊技を行う特定遊技実行手段と、

前記取得情報記憶手段に記憶されている前記取得情報について前記当り判定が行われる前に、当該取得情報が前記当り情報であるか否かの事前判定を行う事前判定手段と、

を備え、

変動表示中の前記識別情報が前記特定態様で表示される場合であって、且つ、前記事前判定の結果、前記取得情報記憶手段に記憶されている前記取得情報が前記当り情報であると判定された場合は、当該識別情報の変動表示中に特定画像を表示可能であり、

前記取得情報記憶手段に記憶されている前記取得情報が前記当り情報であると前記事前判定で判定されたことに基づいて前記特定画像を表示した場合は、当該取得情報に基づく前記識別情報の変動表示の結果として行われる前記特定遊技が開始されるタイミングで、前記特定画像の表示を終了する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

上述した課題の少なくとも一部を解決するために、本発明の遊技機は次の構成を採用した。すなわち、

遊技球が始動口に入球することに基づいて取得される取得情報を記憶する取得情報記憶

手段と、

前記取得情報が当り情報であるか否かの当り判定を行う当り判定手段と、

識別情報を変動表示させ、前記取得情報が前記当り情報であると前記当り判定で判定されることに基づいて、前記識別情報を特定態様で停止表示させる変動表示手段と、

前記識別情報が前記特定態様で停止表示される場合に、可変入球口が入球可能状態となる特定遊技を行う特定遊技実行手段と、

前記取得情報記憶手段に記憶されている前記取得情報について前記当り判定が行われる前に、当該取得情報が前記当り情報であるか否かの事前判定を行う事前判定手段と、

を備え、

変動表示中の前記識別情報が前記特定態様で表示される場合であって、且つ、前記事前判定の結果、前記取得情報記憶手段に記憶されている前記取得情報が前記当り情報であると判定された場合は、当該識別情報の変動表示中に特定画像を表示可能であり、

前記取得情報記憶手段に記憶されている前記取得情報が前記当り情報であると前記事前判定で判定されたことに基づいて前記特定画像を表示した場合は、当該取得情報に基づく前記識別情報の変動表示の結果として行われる前記特定遊技が開始されるタイミングで、前記特定画像の表示を終了する

ことを特徴とする。